

ひらつか景観づくり講演会「なぎさプロムナードを考える」

開催概要

- ✿ 開催日時 平成24年3月3日（土） 午後2時から午後4時まで
- ✿ 会場 ひらつか市民活動センター会議室
- ✿ 参加者数 41名

スケジュール

- ① あいさつ
- ② 景観重点区域「海へのシンボル軸」の概要説明
- ③ 基調講演
講師：首都大学東京准教授 川原 晋（かわはら すずむ）氏
テーマ：「地域の人がつくる 賑わい、もてなしのみち空間」
- ④ ディスカッション（意見交換会）
コーディネーター：首都大学東京准教授 川原 晋 氏

講演会の様子

1. あいさつ
2. 景観重点区域「海へのシンボル軸」の概要説明



▲景観重点区域「海へのシンボル軸」の概要説明の様子

- ・ 40名の皆様にご参加いただきました。基調講演の前に、この平塚駅南口周辺地域の平塚市景観計画の位置づけやまちづくりの方針等を説明させていただきました。

3. 基調講演

■テーマ 「地域の人がつくる 賑わい、もてなしのみち空間」

■講師 首都大学東京准教授 川原 晋(かわはら すずむ)氏

〈講師プロフィール〉

首都大学東京 都市環境学部 自然・文化ツーリズムコース 准教授

専門：都市デザイン、観光まちづくり、市民主体の地域運営、まちづくり市民事業

略歴：早稲田大学理工学部建築学科卒業 同大学院都市計画分野 修了

(株)AUR 建築・都市・研究コンサルタント取締役を経て、現職

藤沢市都市景観アドバイザー、八王子市景観審議会委員、等



- ・ 「みち空間」の考え方（道路と街路の違い）や「良い景観とは何か」などについて、実際の事例を交えながらお話いただきました。また、川原講師が携わった山形県鶴岡市山王商店街での「中心商店街の活動の舞台としての商店街空間」について、その活動内容や活動を支える体制づくりができるまでの経緯、「地域の様々な活動を結びつける方法」などご紹介いただきました。

4. ディスカッション（意見交換会）

- ・ 基調講演に引き続き川原氏にコーディネーター役をしていただき、参加者の皆様に事前に記入いただいた意見票をもとにディスカッションを行いました。



- ・ 講演内容への質問や、実際の活動の進め方や、直面している問題など、予定時間では収まらないほどの活発なディスカッションがなされました。
- ・ ディスカッションの中ででた主なご意見は次のとおりです。

<ディスカッションでのご意見（抜粋）>

保全的なご意見

- ✳ 海までの開放的な景観を保全したい
- ✳ 駅から南口に降りる部分の美観を高めたい
- ✳ 人魚像や噴水を美しく活かし、人々が利用し、憩える場としたい
- ✳ 南側の静かな住環境、落ち着いた雰囲気を活かしたまちづくりが望ましい
- ✳ バラなどの花のある美しいまりづくりをしたい

活用的なご意見

- ✳ なぎさプロムナードのプロモーションの工夫を考えたい
- ✳ 観光案内所を設置し、活用していきたい
- ✳ なぎさプロムナードを観光資源としたい
- ✳ 平塚駅南口のネーミングを、「海岸口」「なぎさ口」など南側のイメージが伝わるような名前にしたい。
- ✳ 広い歩道を利用して、「直産朝市」「夜店」「骨董市」などを開催してはどうか
- ✳ 終点となる海岸公園が活かされていない
- ✳ 湘南海岸公園の活用がなぎさプロムナードの賑わいにもつながるのではないか
- ✳ 南口の特徴を活かしたイベントが必要ではないか

課題など

- ✳ 広い歩道は子供たちが安心して遊べる
- ✳ 産直力などを結びつけるシステム
- ✳ タクシーがメインとなり、広場が活かされていない
- ✳ 自転車の特徴を活かしたまちづくりは出来ないだろうか
- ✳ なぎさプロムナードの始点が自転車駐輪場となっている
- ✳ 素敵なお店やこだわりのある店舗があるが、駅南口とのつながりが感じられない
- ✳ 駅南口となぎさプロムナードのつながりが感じられない
- ✳ 良好な景観を保ち、残すための規制と誘導、緩和のバランスを具体的に行ってほしい
- ✳ 市民活動団体、地元自治会、行政などの横断的な協力が必要となる。どうすれば連携が出来るのか

など